

一般社団法人 山梨県理学療法士会会報誌

Supporters

サポーターズ

NO.150
2017
秋号

一般社団法人 山梨県理学療法士会ホームページ

<http://ypta.jp/>

会員数 825名 施設数 126 (H29.8.15現在)

「supporters (サポーターズ)」とは…

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、「支える人」という意味の supporter に複数形のsを加え、supporters : 支える人たち (造語) の意味です。

次世代が担う士会活動へ ～世代交代～

一般社団法人 山梨県理学療法士会

会長 小林伸一

＜新人の皆さんへ＞

職場に慣れ、業務も順調ですか？ 私にも新人の頃がありました。あれから30数年、今振り返るとあの時に もっと研鑽を…と後悔の念が過ります。野球評論家“野村克也氏”の語録に『若いときに流さなかった汗は、年を取ったときの涙となる』という言葉があります。 新人の皆さん、これからです！

＜士会・協議会活動を旺盛に＞

士会は「学術団体」として、会員にとって必要な知識・技術・資質の研鑽をサポートしていくことが重要な任務であり、また啓発活動や福祉・保健・教育等の分野での活動も行います。これらの士会活動は全会員のご理解・ご協力なくして成り立ちません。また、県民の健康及び県内の医療・介護・福祉に寄与し、三士会合同事業の促進や効率化を図る目的で設立した「山梨県リハビリテーション専門職団体協議会」の活動も同様です。特に、今年度は〈第2回合同学術大会〉が12/2(土)・12/3(日)に予定されております。成功に向けて、全会員のご協力を重ねてお願いいたします。



※(写真は)平成29年度定期総会<理事>
【下段右から3人目:小林伸一会長】

＜次世代を担う皆さんへ＞

会員約880人の内20歳代が48%、30歳代が34%、確実に世代交代が進んでいます。これからは柔軟性に富み、発想豊かな若手からの思い切った提案とベテランの大所高所からの意見を、30～40歳代の会員が先頭に立って具現化していくことが士会活動の発展に繋がると思います。次世代を担う皆さんの奮闘を大いに期待しております。

CONTENTS

次世代が担う士会活動へ ～世代交代～	1
平成29年度定期総会報告	2
《特集》	
「平成29年度山梨県理学療法士会交流会報告」	3
「平成29年度新人理学療法士・転入会員紹介」	4～9
各部活動報告	11～13

● 委託講習会部 ● 広報部 ● スポーツPT部	
● 公開講座部	
お知らせ	14～17
● 学術研修部 ● 山梨徒手療法勉強会 ● 事務管理局	
● 山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会	
リレーエッセイ Part32	18
原稿募集	18
編集後記	19

平成29年度 一般社団法人 山梨県理学療法士会

定期総会報告

平成29年5月16日(火)に、大木記念ホールにて120名以上の会員の参加と400以上の委任状をいただいて、平成29年度の定期総会が開催されました。

昨年の新執行部への移行に伴い、事務管理局も(前)湯村温泉病院から(現)あけぼの医療福祉センター【総務部】及び白根徳洲会病院【財務部】に移って初めての定期総会であり、いろいろと不手際があったこと、まずお詫びいたします。

さて、総会については提案されたすべての議題が承認され、平成29年度の各事業が順次執行されることとなりました。今年度は現体制になって2年目であり、まずはこれまでの士会活動を滞りなく継続して行っていくことが第一の課題となります。

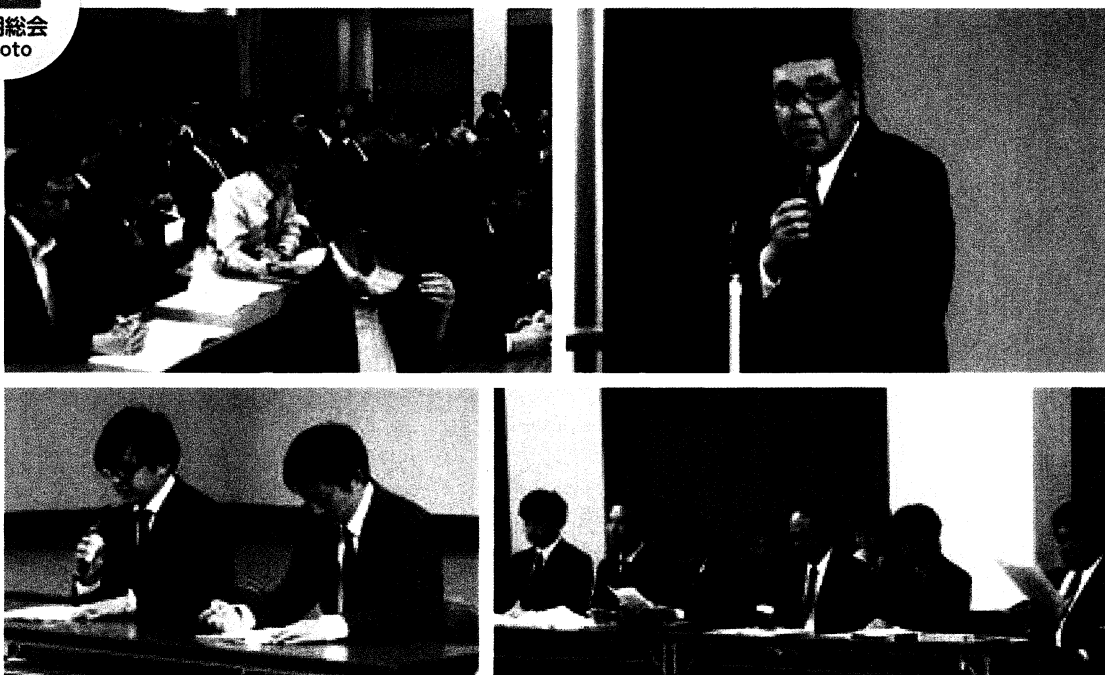
しかし一方で、当士会は過渡期を迎えているとも言えます。年々変化する状況に柔軟に対応していく必要があります。そのために事務管理局機能の強化を図るべく、「事務所の整備・事務員の雇用」を行っていきます。

また来年度からは会費納入時期が変更になるなど、協会及び士会ともに様々な変化が予想されます。それらにしっかりと対応できるようにしていきますが、それには会員の皆様のご理解とご協力が必要です。

会員の皆様におかれましてはご多忙のこととは思いますが、ぜひ来年の『定期総会』に参加していただき、当士会の未来について活発な論議をしていただきますようお願いいたします。

事務管理局長 有泉 静佳
(あけぼの医療福祉センター)

定期総会
Photo



※ 総会議事録は士会 HP に掲載されているため確認を宜しくお願い致します

特集

平成29年度 一般社団法人

山梨県理学療法士会 交流会 報告

交流会
Photo



平成29年6月9日（金）に、ベルクラシック甲府で平成29年度の交流会が行われました。

当日は33施設から274名（一般会員197名、転入会員7名、新人会員64名、来賓6名）の参加を頂きました。毎年のことではありますが、ベルクラシックの1フロアーをすべて使った会場は壮観であり、当士会のパワーを感じざるを得ません。

交流会は、まずはセレモニーとして挨拶や理事紹介が行われた後は、待ちに待った乾杯が行われ、ざっくばらんな雰囲気ではあるが、会場の各所で交流が行われ、親睦が深められたと思います。

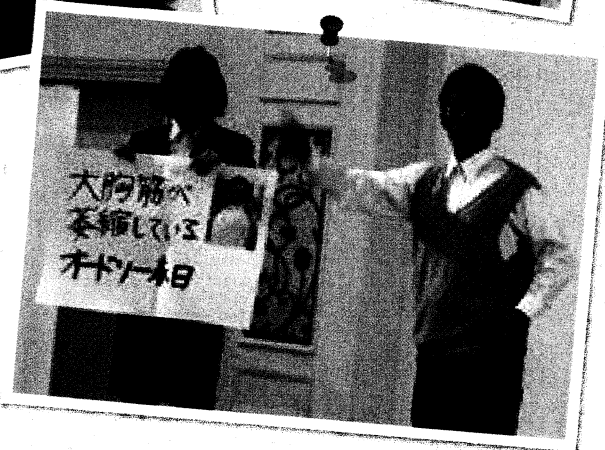
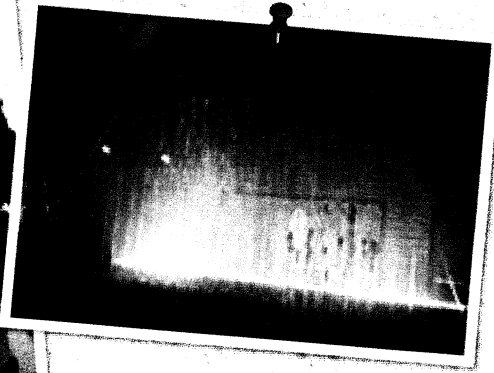
交流会を企画する側としても嬉しい限りであり、この横のつながりこそが当士会の強みでもあると感じています。また、恒例の施設紹介でも毎年趣向を凝らした出し物と、それに花を添える“ドラえもん”の登場など、終始和やかな雰囲気で行われました。

当士会は今年5月末の時点で40歳以下の会員が82%（そのうち30歳未満の会員が48%）を占める非常に若さ溢れる組織であり、この若さと年配組の経験を武器に、これからも進んでいけると感じた交流会でした。

最後に、交流会実施にあたっては湯村温泉病院の先生方に、受付業務を始め多くのご協力を頂いたことをご報告いたします。

事務管理局長 有泉 静佳
(あけぼの医療福祉センター)

平成29年度
新人・転入会員
交流会
Photo



各部活動報告

生涯学習局 委託講習会部発

□ 2017上半期活動報告

6月10日(土)～11日(日)の二日間にわたり日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会『臨床動作分析』を山梨リハビリテーション病院で開催させていただきました。講師は“健康科学大学の高村浩司先生”と“山梨リハビリテーション病院の北山哲也先生”に務めていただき、27名の受講生にご参加いただきました。

今回の講習会では受講生同士の動作分析だけではなく、患者様にご協力いただき、実際の臨床場面での分析と治療を講師の先生



に提示していただきました。

実技練習では講師だけではなくアシスタントも関わらせていただき、充実した講習会となりました。本当にありがとうございました。



★ 問い合わせ先：生涯学習局委託講習会部 稲持 裕太
(健康科学大学リハビリテーションクリニック内 TEL 0555-73-2800)

広報局 広報部発

□ 介護予防・健康増進キャンペーン報告

35℃を超える猛暑日の7月17日。この日は国民の休日「海の日」。しかし、私たち理学療法士にとってもう一つ大きな意味を持つ日でもあります。そうです！毎年7月17日は『理学療法の日』です。

広報局では同日、イトーヨーカドー甲府昭和店にて【介護予防・健康増進キャンペーン】というイベントを開催しました。理学療法関連の情報誌やオリジナルグッズの配布を店頭で行い、店内にはロコモテストのブースを設け、参加者に運動機能チェックなどの体験型イベントを実施しました。休日ということもあり家族連れの来場者も多く、幅広い年齢層の方々に介護予防や健康増進への意識を持っていただくことが出来ました。また、活動内容については後日、地元の新聞誌(毎日新聞山梨版、山梨日日新聞)にも掲載されました。



来場者の相談にも懇切丁寧に対応して頂きました小林会長、「山梨県理学療法士会です！よろしく申し上げます！」と大きな声で来場者への声かけをして頂きました磯野副会長、グッズの配布やロコモテストに協力して頂きました広報局の皆様、本当にありがとうございました。

7月17日は『理学療法の日』です。各施設で働いている会員の皆様におかれましても、理学療法士の職域拡大や地位・認知向上に向け、今後も広報活動にご協力をお願いします。

★ 問い合わせ先：広報局広報部 雨宮 直樹
(山梨県立中央病院リハビリテーション科内 TEL 055-253-7111)

□ ATF 須玉国際ジュニアトーナメント

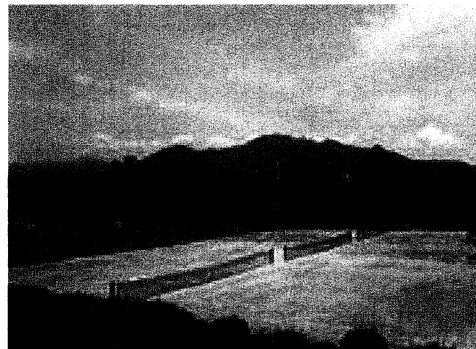
市立甲府病院 植田 祥平

6/24~6/30と7/1~7/7まで2週連続で2つの国際テニス大会が北杜市で開催され、いずれもスポーツPT部が出向しました。私は2週目のATF須玉国際ジュニアトーナメントに出向し出場選手のサポートを行いました。サポート内容は、試合中のアクシデントの対応、試合前後のケア、テーピングが主です。そのなかには運動器疾患だけでなく、熱中症や「蜂のおしっこが眼に入った」など様々な症状があり、幅広い知識を網羅しておく必要があると感じました。

また、2週連続で国際ポイントが取れる大会があることで香港や台湾などアジア諸国やアメリカ・オーストラリアからも多くの外国人選手が参加しており、英語でのコミュニケーションが求められました。私はそれに戸惑い、現病歴の聴取や選手の要望などといった基本的なことさえ何一つ聞き取れませんでした。

2020年に控えた東京オリンピックでも私たち理学療法士の活躍機会は必ずあると思います。

そのときに戸惑うことなく社会貢献できるよう、理学療法スキルとともに語学力の向上も必要だと痛感するいい機会となりました。



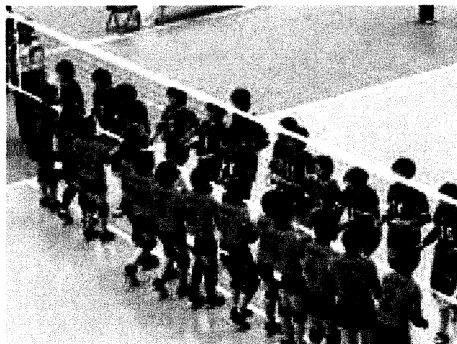
□ 航空高校女子バレー部ニュース

「強豪、航空高校女子バレー部に関わり思うこと…」

JCHO山梨病院 向山 耕太

スポーツPT部では、今年4月から私を含め3人が航空高校女子バレー部に関わっています。このチームは県下で強豪チームに数えられてはいるものの、怪我を抱えている選手が多く、春季大会や高校総体では思わしい結果を出すことができませんでした。

怪我が多い要因の一つに十分なクールダウンをしないことがあり、我々は先ず予防のためアイシングの指導から始め日頃のコンディション調整も指導し、インターハイ予選に賭ける選手たちに応えるため出来る限りのサポートを行いました。徐々にチーム力は向上し、インターハイ予選では強豪チームらしく次々と勝ち進み決勝進出を決めました。



しかし、決勝では接戦の末、惜しくもあと1点が届かず敗れました。私も試合に帯同しましたが、その時の涙を流す選手たちを見て込み上げるものがありました。これからもチームのメディカルスタッフとして勝利に貢献できるように自己研鑽していきたいと思っています。

応援よろしくお祈いします！

★ 問い合わせ先：社会局スポーツPT部 小尾 伸二
(山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部内 TEL 055-273-9805)

□ 平成28年度一般社団法人山梨県理学療法士会公開講座 報告



平成28年度一般社団法人山梨県理学療法士会公開講座が平成29年3月9日に笛吹市スコレーセンターで開催されました。

今回は、元スピードスケート日本代表選手で長野オリンピック金メダリストの‘清水宏保’さんをお招きし、『医療とスポーツの融合を目指して』をテーマにご講演いただきました。当日は一般の方を中心に、県士会員も含め、86名の皆様にご参加いただきました。

講演では、“幼少期の病気や選手時代の大きな事故・選挙活動など、ご自身の体験から困難にぶつかった時はその困難に向き合い、目標を持って取り組むことで改善策を見つけられ、より良い結果・その後の人生につながっていく”という、情熱の籠ったお話を聞くことが出来ました。また実際に身体を動かしたり、貴重な銀メダルに触る機会を得られたりと、参加者の皆様も楽しみながら聴講出来る講演会でした。

最後に、公開講座にご参加いただいた皆様、また、広報活動等今回の企画にご協力いただいた皆様に、感謝申し上げます。



★ 問い合わせ先：企画局公開講座部 上田 修

(恵信梨北リハビリテーション病院リハビリテーション室内 TEL 0551-28-8821)

平成29年度
新人・転入会員
交流会
Photo





学術局学術研修部 研修会のご案内

学術研修部では県士会員の皆さまに向けて、理学療法技術の研鑽を目的に年 4 回の研修会開催に向けた準備と運営を中心に活動しております。今年度は、第 1 回学術研修会の上伊那生協病院 理学療法課 大槻利夫先生による『脳血管障害に対する理学療法の展開と実践～歩行機能を中心として～』をはじめ、「体幹機能障害に対する機能評価とアプローチに関連する実技研修」、「臨床推論・フィジカルアセスメントに関連する講義および演習」など、様々な職域で実践できる理学療法技術として研修会を計画しております。詳細は山梨県理学療法士会 HP などでご確認ください。

引き続き、学術研修部では基礎から臨床に繋がる研修会を企画して参りますので、奮ってご参加いただきますよう宜しくお願いします。

★ 問い合わせ先：学術局学術研修部 廣瀬 昇
(帝京科学大学医療科学部理学療法学科 TEL 0554-63-4411)



山梨徒手療法勉強会のお知らせ

今年度より山梨徒手療法勉強会の代表を務めております健康科学大学の関口と申します。各国のセラピストは、身体の機能異常に対するアプローチの一つとして徒手療法を実践しています。本邦でも様々な学派が存在し各々の発展を遂げていますが、疾患だけでなく各組織（関節系、筋系、結合組織、神経系など）の状態に合わせ、最も効果的な治療手技を選択、実践する点は統一したものであると考えます。本勉強会では参加者の方が各組織に対する徒手的功能診断法と身体状態に合わせた治療手技を臨床で実践できることを目標としております。各回の主な内容は、クリニカルリーディング、機能解剖学、触診（トレース）、各組織の徒手的功能診断と治療（モビライゼーション・神経筋テクニック）、機能的トレーニングなど実技中心で実施致します。内容を Upper Quarter（頸部、肩、肘、手）・Lower Quarter（腰部、股、膝、足）の計 8 回に分け、今年度はすでに「膝関節・足関節」の勉強会を開催しております。徒手療法を初めて学ぶ方でも少人数制なので丁寧にわかりやすくご説明致します。また、ご経験のある方は復習にもなると思いますので、是非ご参加下さい。

《今年度の予定》③ 股関節障害に対するマニュアルセラピー（平成 29 年 11 月予定）

④ 腰部障害に対するマニュアルセラピー（平成 30 年 2 月予定）

《来年度の予定》Upper Quarter（頸部、肩、肘、手）を予定しております。

*勉強会の開催日やお申込み方法は、山梨県理学療法士会ホームページの研修会案内に掲載いたします。また、本会のホームページ (<https://ymtsc.jimdo.com/>) もございますので、是非ご利用下さい。
<連絡先アドレス>y_mts@yaho.co.jp

山梨徒手療法勉強会は、主に県内における徒手療法の普及・共有・発展を目指しております。卒業教育の一環として参加・活用して頂けると幸いです。

代表：関口 賢人（健康科学大学）



事務管理局からのお知らせ

◆ 重要なお知らせ

会費の納入期限の変更について

(公社)日本理学療法士協会と各都道府県士会では、**来年2018年度(平成30年度)分の会費から、事業年度が開始となる4月よりも前に会費を納入していただくことになりました。**

= 来年度分の会費の納入期限は2018年(平成30年)3月31日になります =

楽天カード、口座振替の会員については、**2018年3月27日引落**

引落登録のない会員については、**2018年3月上旬から、振込用紙が順次発送されます。**

これまで6月末までであった会費の納入期限が**3か月早くなります。**

【注意】特に振込用紙を利用されている会員につきましては、用紙到着から納入までの期限が短くなります。

これに伴い、

3月末までに納入のなかった場合は、4月から会員権利の全面停止、

6月末までに納入のなかった会員につきましては、会員資格喪失により退会、

となります。

*退会となった場合、これまで獲得した生涯学習ポイント等はすべて失効となります。

「4月以降の異動が決定した場合(特に県外へ)」は、可能な限り早めの申請をお願いします。

「休会、復会、退会」を希望される会員は、2018年1月1日～3月31日に手続きをして下さい。

会員情報の変更手続き(異動、休会、退会、会費納入方法等)については、協会HPのマイページから手続きを行ってください。

マイページにアクセスするには、協会が各個人に発行したIDとパスワードが必要です。

「IDやパスワードがわからない(協会HPからも問い合わせ可能)」、「そもそもインターネット環境が無い」という会員の方は、お手数ですが日本理学療法士協会まで問い合わせをお願いします。

(公社)日本理学療法士協会 TEL:03-5414-7911

*会員情報につきましては、(公社)日本理学療法士協会の会員管理システムにて一括管理されているため、士会単位では対応ができません。

◆ 2017年度(平成29年度)の会費の納入について

今年度の会費の納入につきましては、速やかな納入にご協力をお願いいたします。

◆ 事務管理局への問い合わせについて

山梨県士会HPの「事務管理局への問い合わせ」メールフォームからお願いいたします。

インターネット環境がない会員の方は、

山梨県立あけぼの医療福祉センター【療法科内】(担当)有泉

TEL:0551-22-6112(療法科直通)までお願いします。

◆ 山梨県士会HPについて

一部の内容が古いままなど、ご迷惑をおかけしていますが、随時更新作業を進めています。

トップページの「お知らせ」や「研修会情報」については、常に最新の情報を載せていますので、ぜひアクセスしてみてください。



第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学会大会のご案内

来る12月2・3日に第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学会大会（第21回山梨県理学療法士会学術集会）が開催されます。是非、多くの方にご参加いただきますよう宜しくお願いいたします。

1. 学 会 名：第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学会大会

2. 会 期：平成29年12月2日（土）13時～18時（予定）
平成29年12月3日（日）9時～13時（予定）

3. 会 場：アピオ（山梨県中巨摩郡昭和町西条3600）

4. 大 会 長：内山量史（山梨県言語聴覚士会会長 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）

5. テ ー マ：「躍進 ～リハビリテーション未来の創生～」

6. 学会プログラム：

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1) 特別講演1「摂食嚥下障害（仮）」 | 講師：向井美恵（昭和大学 名誉教授） |
| 2) 特別講演2「身体図式とコミュニケーション」 | 講師：内藤栄一（脳情報通信融合研究センター 研究マネージャー） |
| 3) 大会長講演「リハビリテーション未来の創生（仮）」 | 講師：内山量史（山梨県言語聴覚士会会長） |
| 4) 教育講座1「災害リハビリテーション」 | 講師：赤池 洋（言語聴覚士
山梨大学医学部附属病院） |
| 教育講座2「訪問リハビリテーション」 | 講師：柴田佳介（理学療法士 石和共立病院） |
| 教育講座3「認知症」 | 講師：松田智子（作業療法士 住吉病院） |
| 教育講座4「地域支援事業」 | 講師：笠井斗志夫（理学療法士 塩川病院）
久保田好正（作業療法士
株式会社斬新社代表） |

5) 一般演題（口述発表）

7. 市民公開講座：日 時：平成29年11月22日（水）18時30分～

会 場：山梨県立文学館

テーマ：「認知症と運転（仮）」

講 師：三村 将（慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室教授）

8. 対 象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、関係職種、学生、その他

9. 参 加 費：

対象		事前	当日
理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	会員	3,000円	4,000円
	非会員	4,000円	5,000円
関連職種 一般 その他		1,000円	1,000円
学生		無料	無料

10. 事前登録について：

- ① 大会ホームページからWebフォームにてお申し込み下さい。 URL：http://yrsgg.sakura.ne.jp
Web対応が難しい場合のみ、同封の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお送り下さい。
- ② 事務局より「参加申し込み受付」の確認メールを送信します。
- ③ 確認メールが届きましたら、1週間以内に参加費・レセプション参加費を下記の口座へ振り込んで下さい。
- ④ 事務局にて入金を確認でき次第、「参加費振り込み」の確認メールを送信いたします。

<振込先>

- ◆ 銀行名：甲府信用金庫
- ◆ 支店名：南支店
- ◆ 口座番号：0461018

- ◆ 名前：山梨県リハビリテーション専門職団体協議会
- ◆ 預金科目：普通預金
- ◆ 店番：016

11. 事前申し込み期限：

平成29年9月1日(金)～10月31日(火) 参加費振り込み期日：平成29年11月7日(火)

※キャンセルは【平成29年11月15日(水)】までに下記問い合わせ先までご連絡下さい。上記日程までにキャンセルを申し出た場合に限り、参加費・レセプション参加費から振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。

12. レセプション：

日 時：平成29年12月2日(土) 18:40～20:30

会 場：アピオタワー館

参加費：6000円

※大会ホームページからWebフォームにてお申し込み下さい。 URL：<http://yrsgg.sakura.ne.jp>

Web対応が難しい場合のみ、同封の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお送り下さい。

申し込みは事前受付のみとさせていただきます。

<大会・レセプション参加申し込み・キャンセルに関する問い合わせ先>
木下整形外科クリニック リハビリテーション室
第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会 事務局 広報部 有泉宏紀
〒400-0116 山梨県甲斐市玉川 210-1
TEL：055-288-1768
MAIL：kotarou527@yahoo.co.jp

13. 託児室の利用について：

託児室の利用は事前に申し込みされた方のみとさせていただきます。

利用を希望される方は、E-mailにてお申し込み下さい。

(詳細は大会HP <http://yrsgg.sakura.ne.jp> をご覧下さい。書類はHPよりダウンロードできます。)

申し込み締切：平成29年11月15日(水)

<託児室に関する問い合わせ先>
山梨リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法課
第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会 運営局 会場運営部 菊池 信
〒406-0004 山梨県笛吹市春日居小松 855
TEL：0553-26-3030 FAX：0553-26-4569
MAIL：gakkaibu.yamanashi@gmail.com

14. 本大会の各協会のポイント取得について：

※理学療法士：公益社団法人日本理学療法士協会 新人教育プログラム及び専門・認定ポイントは申請中です。

新人教育プログラム取得単位	認定・専門理学療法士取得ポイント
参加者単位 1単位 新人教育プログラムC-7	参加ポイント 10ポイント
発表者単位 3単位 新人教育プログラムC-6	発表ポイント 5ポイント
	座長ポイント 5ポイント

※作業療法士：一般社団法人日本作業療法士協会 生涯教育制度、基礎コースポイントを申請中です。

※言語聴覚士：一般社団法人日本言語聴覚士協会 生涯学習プログラムポイントを申請中です。

以上

<大会事務局>
医療法人 慈光会 甲府城南病院 言語聴覚療法室内
第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会 事務局 中村晴江
〒400-0831 山梨県甲府市上町 753-1
TEL：055-241-5811(代) FAX：055-241-8660
MAIL：rihagodogakujutu@gmail.com



途絶えることのないバトンを君に /

リレーエッセイ

!!!
『リレーエッセイ』
とは…

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい（ただし、誹謗や中傷の内容は除外します）ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

以前の Supporters にあった「会員のひろば」との違いは、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

リレーエッセイ

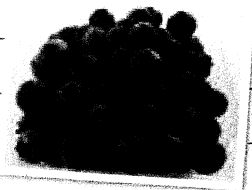
Part 32-1

白根徳洲会病院 市川 普隆

赤坂台病院の水上卓先生からバトンを受け取りました白根徳洲会病院の市川普隆です。

私は他県出身であるため、“山梨のフルーツ狩り”を毎年楽しみにしています。

当院の周りにも桃・ぶどう・さくらんぼがありますが、先日「ブルーベリー狩り」に出かけたので、少しだけ書かせて頂きます。



山梨県北杜市は、東京都小平市、茨城県つくば市とともに『日本三大ブルーベリーの地』という事をご存知ですか？美味しいブルーベリーの見分け方は粒が大きい、色付きが濃い、実の表面に白っぽい粉があるなど様々ありますが、実の付け根辺りの冠が大きいほど甘くて美味しいそうです。個人的には、やや酸味のある粒が好きですが… 家族はやはり甘い方が好きなようでした。

暑い日が続いていますが、ブルーベリーの花言葉のように“実りのある人生”が送れるように仕事も遊びも、もっと楽しもうと思います。

次回は、『甲斐リハビリテーションクリニックの大竹健太郎先生』にバトンをお渡します。

原稿を募集しています！

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

※ 第151号発行は、2018年3月を予定しています。

原稿の締め切りは

1月中旬です。

- 問い合わせ先：広報局 会報部 古澤淳一
塩山市民病院 TEL：0553-32-5111 FAX：0553-32-5115
E-mail：yamanashikaihoubu@yahoo.co.jp

Part 32-2

甲州リハビリテーション病院 山内 健太

加納岩総合病院の中澤祐宇先生からバトンを頂いた、甲州リハビリテーション病院の山内健太です。

最近、全国各地で開催される学会に積極的に参加しています。5/12(金)～5/14(日)は幕張で開催された“第52回日本理学療法学会”に参加しました。運動器や神経・呼吸・教育・地域・スポーツ・基礎・糖尿病・小児など様々な分野の演題や講演、シンポジウムを聞くことができました。また、国際講演や災害リハの講演は普段触れることができない内容で、非常に興味深い内容でした。今後もスキルアップのために学会や講演会に積極的に参加していこうと思います。

仕事がない休日は、夏は去年から友人と始めてみた「サーフィン(神奈川)」、冬は高校の時から行っている「スノーボード(長野)」を行っています。行ける数は限られていますが、勉強と同時に色々な事にチャレンジし、色々な経験を積んで仕事に生かしていきたいです。

今回は、『フルールむかわ 大西健太先生』です。

編集後記



今年7月、九州北部豪雨をはじめとし全国各地で“記録的な大雨”北海道では“観測史上に残る暑さを記録”また山梨でも、8月には台風5号により被害を受けることとなりました。年々気候の変動が激しくなっているように感じられますが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？

本号の特集は「6月の交流会、新人・転入会員紹介」となっております。今年度会報誌第一号も会員の皆様のご協力の下、発行することができましたこと感謝申し上げます。

次回、会報誌発行の際も引き続きご協力を宜しくお願い致します。会員の皆様におかれましては気候の変化に体調を崩さぬようお気をつけ下さい。

古澤 淳一

- 【発行】 一般社団法人 山梨県理学療法士会
- 【代表】 小林 伸一
- 【企画・校正】 古澤 淳一 菊池 悟 澤田 和文 中島 孝 長田 徹也
- 【編集・印刷】 株式会社 たけまる
- 【会報部】 〒404-0037 山梨県甲州市塩山西広門田433-1
公益財団法人 山梨厚生会 塩山市民病院
TEL: 0553-32-5111 FAX: 0553-32-5115
E-mail: yamanashikaihoubu@yahoo.co.jp

